

205 中央大学記事 (紀念式並卒業証書授与式・外国語専修科

・研究科の完成)

〔法学新報〕第十五卷十二(二七九)号

明治三十八年十一月一日

○中央大学記事

○紀念式並卒業証書授与式 来る十一日を以て構内紀念講堂に於て創立二十年紀念式並第二十回卒業証書授与式挙行の筈にて内外の貴紳を招待したり当日の次第左の如し

一午後一時開場

(第一号鈴)

一講師學員学生著席

(第二号鈴) 奏楽

一來賓著席

(第三号鈴) 奏楽

一式 辞

学長 法学博士 菊池武夫

一祝 辞

講師 法学博士 穂積陳重

一祝 辞

學員 衆議院議員 花井卓藏

一紀念講堂寄附式

學員 検査官 伊藤高行

一紀念品贈呈式

學員 弁護士 石山彌平

一演 説

講師 法学博士 増島六一郎

一演 説

講師 法学博士 江木 衷

一演 説 英国公使

サー・クロード・マクドナルド閣下

一祝 辞

司法大臣 波多野敬直閣下

一祝 辞

文部大臣 久保田讓閣下

一祝 辞

學員 貴族院議員子爵青木信光

一祝 辞

學員 東京市助役 渡邊勸十郎

一祝 辞

學員 日本鉄道株式
会社常務理事 久米良作

一祝 辞

學員 通信書記官 田中武雄

一祝 辞

中央大学会各支部代表者

一謝 辞

理事 法学博士 土方寧

紀念式終り

(第四号鈴) 奏楽

一学況報告

理事 法学博士 奥田義人

一卒業証書授与及告辞

学長 法学博士 菊池武夫

一卒業生総代答辞

學員 弁護士 卜部喜太郎

一祝 辞

學員 弁護士 卜部喜太郎

卒業証授与式終り

(第五号鈴) 奏楽

別室ニ於テ宴会

○外国語専修科

は入学者日々増加しつゝある所なるか同科

の新学年に於ける組織は毎日午後七時より授業を開始して同九時に終るものにして英語、独逸語の二科を置き各科初歩及び中学卒業程度の二組に分ち各講師熱心授業に従事せらる其分担左の如し

英語 (読方及訳解)

講師 飯塚 陽平
講師 松浦与三松
農学士 佐久間信恭

英語 (時文)

講師 廣井辰太郎

英語(会話)

講師 ウキリヤム、ハリス

独逸語(読方及訳解)

文学士	葉山萬次郎
ドクトル	渡邊 豊治
ユーリス	向 軍 治
講師	福 間 博
文学士	齋藤 信策

又右の外高等文官、判検事受験者の為め特に受験科なるものを設け原書に依り法律経済を授くる所の一科を新設し担任講師左の如し

法律(現にテリー氏コンモノローを用ゆ) 法学士 池田寅二郎
経済(現にジード氏経済学を用ゆ) 法学士 吉野作造

○研究科の完成 新学年に入り研究科は僅かに其一部の授業ありしのみなりしか漸く本月に入りて組織完成せり其分担を挙げくれば民法は富井政章、土方寧、伊藤悌治、磯谷幸次郎、横田秀雄の諸氏商法は岡野敬次郎、馬場愿治、内田嘉吉、片山義勝の諸氏刑法及び刑事訴訟法は岡田朝太郎、棚橋愛七、豊嶋直道、牧野英一の諸氏民事訴訟法は今村信行、伊藤悌治、松岡義正の三氏憲法及び行政法は美濃部達吉、清水澄、上杉慎吉の三氏国際法は中村進午氏経済学は山崎覺次郎氏等とす